

ベシ
シ
ン
ポ
ジ
ウ
ム
ベー
シ
ッ
ク
イ
ン
カ
ム
と
ジ
ェ
ン
ダ
ー

発言:

原ミナ汰 :セクシャル・マイノリティ支援の立場から("共生社会をつくる"セクシャルマイノリティ支援全国ネットワーク代表、翻訳・通訳業)

野村史子:女性市民活動家の立場から(女性のための街かど相談室共同代表・カウンセラー)

白崎朝子:シングルマザーの立場から(介護福祉士&ライター)

無料

12月3日(土)

18:00~20:30

(17:30開場)

大学コンソーシアム大阪

(大阪駅前第2ビル4階)

お問い合わせはセンターまで

06-6605-2035

otazune@rchr.osaka-cu.ac.jp

3.11の大震災を経て、全ての国民に、無条件で最低限のニーズを保障するベーシックインカムという考え方は一層必要になっているように思われます。本シンポジウムでは、ベーシックインカムという思想の重要性を、市民活動家、シングルマザー、セクシュアルマイノリティという3つの立場から考えてみたい。ジェンダーの縛りをもっとも受けやすい立場からのベーシックインカムをめぐる議論のなかで、ジェンダーによる経済的不平等の現実と、平等な社会を志向するためのベーシックインカムの可能性/問題点がより一層クリアになるだろう。